



[様式第3号]

資料提供年月日	令和5年1月19日	
問い合わせ先	課名	消防局予防課
	電話	直通 234-9974 内線 3772
担当者	職名・氏名	担当課長 三神
	職名・氏名	課長補佐 河原

広 報 連 絡

1 件 名

火災から日本遺産を守る

「第69回文化財防火デー」に伴い、吉備津神社で消防訓練を実施します

2 趣 旨

消防庁と文化庁において、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動が展開されており、本市では、この時期に合わせて、文化財において消防訓練を実施しています。

吉備津神社では昨年、放水銃などの設備を更新しました。当日は、この放水銃を使った消火訓練も実施予定です。詳細は別紙にてご確認ください。

3 日 時

令和5年1月26日（木）9時30分～10時

※天候及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により中止する場合があります。（当日7時30分決定）

4 場 所

吉備津神社（北区吉備津）

5 来 賓

文化庁長官 都倉 俊一（とくら しゅんいち）以下7人

消防庁審議官 鈴木 建一（すずき けんいち）以下3人

※別紙、来賓・主催・来場者一覧参照

6 訓練参加者・車両等

・市消防局 38人・11台（消防ヘリ1機含む）

・市消防団 22人・4台

・神社側 10人

（裏面あり）

7 訓練想定

吉備津神社本殿及び拝殿の北西方向に位置する林の下草及び立木が燃え、東方向へ延焼拡大してきたため、吉備津神社の本殿、拝殿、勤番所及び廻廊への延焼の恐れが高まったもの。

別添「吉備津神社特別消防訓練実施要領」をご確認ください。

8 注意事項等

- (1) 当日10時から、国来賓、市長、宮司、西消防署長等への取材の時間を設けています。
- (2) 取材を希望する社は、1月25日(水)正午までに、消防局予防課まで、社名・来訪者氏名を電話にてご連絡ください。
- (3) 当日は、第2駐車場(下図参照)へ係員の指示に従い駐車し、9時10分までに下記「参集殿」前へお越しください。

9 添付資料

- (1) 来賓・主催者・来場者一覧
- (2) 吉備津神社特別消防訓練実施要領

全体位置図



来賓・主催者・来場者一覧

	No.	氏名	所属	役職
文化庁	1	都倉 俊一	文化庁	長官
	2	奥 健夫	文化庁	文化財鑑査官
	3	松田 淳	文化資源活用課	文化財防災専門官
	4	森 孝平	政策課	専門官
	5	稲垣 智也	文化資源活用課	整備活用部門 調査官
	6	ハツ本 宏之	文化資源活用課	文化財防災推進係長
	7	岡本 尚弥	文化資源活用課	文化財防災推進係員
消防庁	8	鈴木 建一	消防庁	審議官
	9	濱田 賢太郎	消防庁	国際規格対策官（併）課長補佐
	10	菅野 拓也	消防庁	総務事務官
岡山県	11	浮田 信太郎	教育庁	教育次長
	12	江草 大作	教育庁文化財課	課長
	13	根石 憲司	知事直轄	危機管理監
	14	宗田 勝志	消防保安課	課長
	15	島崎 哲	消防保安課	総括参事
岡山市（消防以外）	16	大森 雅夫	岡山市	市長
	17	三宅 泰司	教育委員会	教育長
	18	草原 孝典	教育委員会文化財課	課長
	19	西田 和浩	教育委員会文化財課	副主査
岡山市（消防）	20	松岡 浩志	岡山市消防局	局長
	21	岸 宗一	岡山市消防団	団長
	22	佐野 貴之	岡山市西消防署	署長
	23	加藤 恵介	予防課	課長
	24	林 達也	警防課	課長

吉備津神社特別消防訓練実施要領

(1) 目的

この訓練は、消防職団員の火災防ぎょ技術の練磨及び対象物側の火災に対する初期対応の充実を図るとともに、文化財に対する防火意識及び文化財に関する愛護意識の高揚を図ることを目的とする。

(2) 実施日時

令和5年1月26日（木）9時30分から10時00分まで

(3) 実施場所、対象物名称及び管理者等

岡山市北区吉備津931番地 吉備津神社

宮司 藤井 崇行

防火管理者 上西 謙介

(4) 吉備津神社の概要

吉備津神社は、古代には吉備国、中世以降は備中国で第一の社格を有した大社である。

本殿は吉備津造りとも称され、比翼入母屋造という前後に棟を二つ並べる独特の構造をしており、拝殿とともに国宝に指定されている。

- | | |
|--------------|--|
| ア 国宝 | 本殿、拝殿（昭和27年指定） |
| イ 重要文化財（国指定） | 南随神門（明治44年指定）
北随神門（大正2年指定）
御釜殿（昭和55年指定）
木造獅子狛犬一對（平成14年指定） |
| ウ 文化財（県指定） | 廻廊（昭和51年指定） |

(5) 本殿、拝殿の概要

建築面積 353.27㎡ 延べ面積 353.27㎡

消防用設備等：消火器、自動火災報知設備、屋内消火栓設備

(6) 参加車両及び人員

ア 消防側

松岡局長以下38名 消防車両10台、消防ヘリ1機

岸団長以下22名 4分団、消防車両4台

イ 対象物側 吉備津神社

藤井宮司以下10名

(7) 想定

令和5年1月26日(木)9時30分頃、吉備津神社本殿及び拝殿の北西方向に位置する林の下草及び立木が燃え、東方向へ延焼拡大してきたため、吉備津神社の本殿、拝殿、勤番所及び廻廊への延焼の恐れが高まったもの。

(8) 訓練内容

ア 吉備津神社側

吉備津神社における火災発生時の初動対応訓練を実施する。

- (ア) 119番通報訓練(現場映像119)
- (イ) 初期消火訓練(消火器、屋内消火栓設備)
- (ウ) 避難誘導訓練(ピクトグラム)
- (エ) 有形文化財(代替物品)の搬出訓練
- (オ) 放水銃を使用した消火訓練

イ 消防側

消防指揮本部及び現場指揮所を設置して、吉備津神社における火災発生時の情報収集、部隊指揮及び無線運用訓練を実施するとともに、火災防ぎょ、人命検索及び避難誘導訓練を実施する。

- (ア) 現場指揮所及び消防指揮本部を設置しての情報収集、ドローン検索、部隊指揮及び無線運用訓練
- (イ) 救助隊による人命検索、救出及び避難誘導訓練
- (ウ) 消防隊による消火活動訓練
- (エ) 救急隊による救急活動訓練
- (オ) 航空隊による上空偵察(ヘリテレ送信)及び空中消火訓練

(9) 終了式

ア 主催地挨拶

岡山市長 大森 雅夫

イ 訓練講評

岡山市消防局長 松岡 浩志

岡山市消防団長 岸 宗一

ウ 来賓紹介

文化庁長官 都倉 俊一 様

消防庁審議官 鈴木 建一 様

文化庁文化財鑑査官 奥 健夫 様

岡山県教育庁教育次長 浮田 信太郎 様

岡山県危機管理監 根石 憲司 様

エ 来賓挨拶

文化庁長官 都倉 俊一 様

消防庁審議官 鈴木 建一 様

オ 吉備津神社挨拶

宮司 藤井 崇行

カ 解散・終了